

第3回 大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第10期)審議会 議事録

日 時： 令和8年 8月 30 日(日) 午後1時30分～午後3時05分

場 所： 大和市保健福祉センター 501 会議室

出席者： 委員 14 人(欠席0人) 事務局 14 人 傍聴 3 人

会議次第：

1. 開会
2. 報告
 - (1)国の動向について
 - (2)計画策定に向けた実態調査の結果について
3. その他
4. 閉会

◎配布資料

(事前配布)

【資料1】国の動向について

「第10期介護保険事業計画 基本指針(案)の主な改正事項のポイント」

【資料2】計画策定のための実態調査 調査結果 概要版

【資料3】今後のスケジュール

(当日配布)

- ・【冊子】大和市高齢者保健福祉計画介護保険事業計画(第10期)策定のための
実態調査報告書
- ・第3回審議会 意見提出用紙

会議内容：

1. 開会

2. 報告

(1) 国の動向について

◆委託業者 サーベイリサーチセンターから説明

委員：【資料1】8ページの最後の2行より、「健康づくり、保健事業、介護予防を一体的に進め、支援が必要になる前の段階から高齢者につながる仕組みを強化すること」が特に重要と考えるが、コンサルとして、多くの事例をご存じだと思うので、具体的方策があるか、お尋ねしたい。社会参加やつながりに関して、シニアクラブや社会福祉協議会など様々な団体がそれぞれ活動しているが、一体的に取り組めておらず、悩みもある。既存の活動に新規の人々を呼び込みたいので、計画の中でもそうした活動へのエールがあると有難い。

委託業者：実施していく具体的な取組や施策は、大和市の事務局等と協議しながら進めていくこととなるが、支援が必要となる前段階での社会参加等の取組については、行政による取組・啓発だけでは限界があり、地域住民等による”共助”の役割が重要と考える。国においても、今回の基本指針に加え、社会福祉法の一部改正により地域の助け合いを強化し、地域共生社会の実現促進に努めているところである。

(2) 計画策定に向けた実態調査の結果について

◆委託業者 サーベイリサーチセンターから説明

委員：【資料2】1ページより、高齢者を対象としたアンケートの回収率が前回よりも高くなっていることは関心の高さの現れで、良かった。

【資料2】20 ページより、介護サービス全体に対する満足度が前回よりも高くなっていることは非常に良いことと思う。

【資料2】30 ページより、事業所の稼働率等の結果に、第9期の計画期間に開設された“看護小規模多機能型居宅介護”が記載されていないのは、なぜか。

事務局：【資料2】27 ページに記載されているが、“看護小規模多機能居宅介護”の事業所から回答が得られなかったため、稼働率等の部分には記載がない。

委員：【資料2】5ページより、日常生活で困っていることや不安に感じていることがあるのは、回答者の約 2 割、また、【資料2】3ページより、運動器リスク該当者は回答者の約 5 割。要介護状態にならないようにする、予防の取組が重要と考える。

委員：【資料2】20 ページより、全体的にサービスに対する満足度は高いため、第9期計画に対しては合格点をもらえたと考える。【資料2】26 ページより、在宅介護を続ける上で、市民や事業所からの要望が示されている。また、【資料2】32 ページの結果を参考に、介護人材不足への対応も、今後の課題と考える。また、【資料2】42 ページより、足りていないサービスは訪問介護という結果なので、対策が必要。最後に、【資料2】24 ページより、介護者で働いていない方が半数を超えており、今後の介護による離職が懸念されるが、【冊子 報告書】171 ページより、7割近くの方が働きながら介護を続けていくと回答しているため、少々安心した。

3. その他

◆今後のスケジュール 事務局から説明

(質疑なし)

(全体を通じて)

(質疑なし)

4. 閉会